

Saturday, March 10 – Sunday, March 25, 2018
11 AM – 7 PM, closed on Mondays
Free admission
Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA
238-1 Oshiaburanokoji-cho
Nakagyo-ku, Kyoto 604-0052
<http://gallery.kcua.ac.jp/>

〒604-0052 京都市中京区押油小路町 238-1
Tel.075-253-1509 <http://gallery.kcua.ac.jp/>
地下鉄「二条城前」駅(2番出口)南東 歩歩約3分／市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ

2018年3月10日(土)~25日(日)
午前11時~午後7時(月曜休館／入場無料)

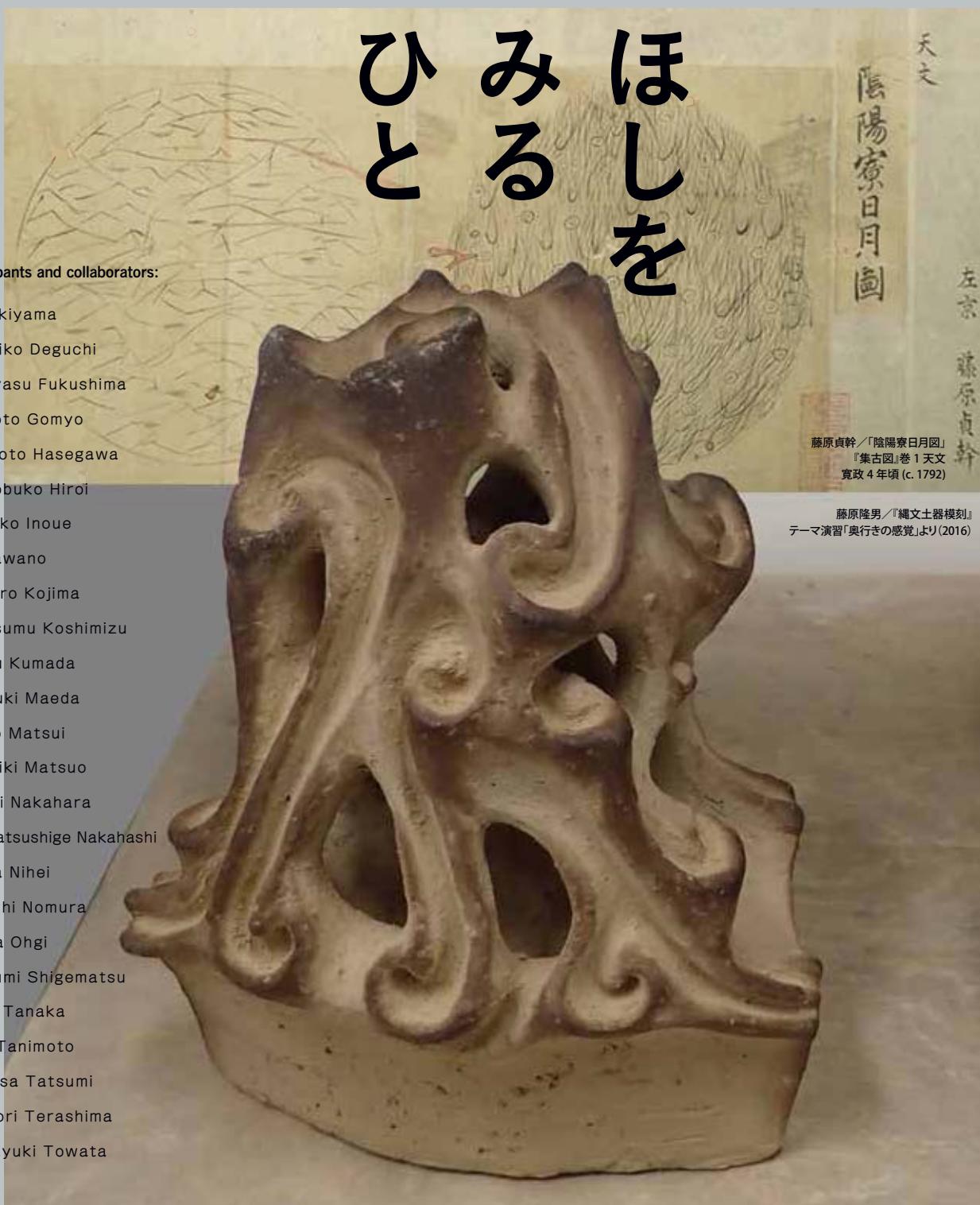
ひとみるほしを

参加協力者 Participants and collaborators:

秋山 阳 Yo Akiyama
出口義子 Yoshiko Deguchi
福嶋敬恭 Noriyasu Fukushima
五明 真 Makoto Gomyo
長谷川直人 Naoto Hasegawa
ひろいのぶこ Nobuko Hiroi
井上明彦 Akihiko Inoue
河野 愛 Ai Kawano
小島徳朗 Tokuro Kojima
小清水 済 Susumu Koshimizu
熊田悠夢 Yumu Kumada
前田菜月 Natsuki Maeda
松井繁朗 Shiro Matsui
松尾芳樹 Yoshiki Matsuo
中原浩大 Kodai Nakahara
中ハシ克シゲ Katsushige Nakahashi
二瓶 晃 Akira Nihei
野村 仁 Hitoshi Nomura
扇 千花 Chika Ohgi
重松あゆみ Ayumi Shigematsu
田中美帆 Miho Tanaka
谷本 研 Ken Tanimoto
辰巳明久 Akihisa Tatsumi
寺島みどり Midori Terashima
砥綿正之 Masayuki Towata

藤原貞幹／『陰陽寮日月図』
『集古圖』巻1 天文
寛政4年頃(c. 1792)

藤原隆男／『繩文土器模刻』
テーマ演習「奥行きの感覚」より(2016)



藤原隆男 京都市立芸術大学退任記念展

Exhibition commemorating the retirement of KCUA's Astrophysics professor Takao Fujiwara.

京都市立芸術大学美術学部での研究教育、大学内の情報基盤の充実などさまざまな方面で本学を支えた宇宙物理学者・藤原隆男教授の退任を記念し、宇宙へのまなざしの薰陶を受け、研究教育を共にした美術家・教員・卒業生とともに、「ほしをみるひと」として地上の価値の序列にとらわれず、銀河的視野で芸術と芸術教育のあり方を探求する本学美術学部のユニークな一局面を提示します。

主催：京都市立芸術大学 お問合せ：京都市立芸術大学 事務局連携推進課(事業推進担当) Tel 075-334-2204(平日 8:30~17:15) 京都市立芸術大学

会期中、さまざまなレクチャーやイベントを予定しています。最新情報はギャラリー @KCUA ウェブサイトをご参照下さい。 <http://gallery.kcua.ac.jp/>

Stargazers: Takao Fujiwara and others

ほしを みる ひと



Takao Fujiwara

藤原隆男 略歴

1953年 兵庫県生まれ
1983年 京都大学大学院理学研究科博士課程宇宙物理学専攻修了、理学博士（京都大学）
1985年 京都市立芸術大学美術学部講師
1991年 同美術学部助教授
1994年より学内情報基盤の充実に尽力
1995年に本学初代ウェブサイトを開設し約10年間運営に関わる
1997～2004年 NASDA/JAXAとの共同研究
「宇宙への芸術的アプローチ Artistic Approaches to Space」に参加
2004年より同美術学部教授
2013年より「奥行きの感覚」研究グループに参加
2014年より同美術学部長

おもな論文・著書に、

1983年 「Integration of the collisionless Boltzmann equation for spherical stellar systems」(PASJ)

1992年 「宇宙の旅」(共著・福江純ほか、アスキー出版局)

研究報告として、

2007年 「宇宙への芸術的アプローチ 共同研究最終成果報告書」
(共著・福嶋敬恭ほか、宇宙航空研究開発機構)などがある

藤原隆男のつぶやきより

「芸大生に、いろんな分野の人々がいる総合大学のおもしろさを知つてもらいたくて、ミニ総合大学をめざしてきたんです」

「芸大には、うつうの大学にはなつてもいいけど、大学－ユニバーシティにはならないと…」「芸大生には自然を目で理解する人が多いので、ビジュアルに見せようとするうちに、こちらも自然をビジュアルに考えるようになつていきました」

「数学を言語としない人にリアルに自然法則を理解してもらうにはどうすればいいのか、芸大ずっと訓練してきたような気がします」

「実技入試を経ずに芸大に来たので学生や実技の先生に対して引け目があつたんですが、奥行きのテーマ演習で学生といっしょに制作をするうちに、引け目を感じなくなりました」「でも退任記念展はやり過ぎのような気が…」

「展覧会の開催は、ひとえに協力してくださったみなさんのおかげです」



上：藤原貞幹／
『集古図』巻1 天文
寛政4年頃(c. 1792)

中：藤原隆男／「水の球を用いた造形実験」の
解説のためのCG画像, JAXA「文化 /
人文社会科学利用パイロットミッション」
における藤原隆男・野村仁・砥綿正之の共同研究から(2008)

下：「星を見るひと ウルグ・ベク」(細密画、ウズベキスタン)
ひろいのぶこ蔵

背景：藤原隆男「PanSTARRS 彗星」撮影 2013年3月25日19:09

Stargazers
design: Akihisa Tatsumi